

ハロウィンでお菓子を求めて

院内託児所の子どもたち

院内託児所の子どもたちは10月30日、ハロウィン前日に仮装をして、お菓子を求めて病院などを巡り歩きました。

ハロウィンは、秋の収穫を祝って悪霊を追い出す行事で、仮装を楽しむお祭りとして定着しています。託児所では毎年、子どもたちがカボチャのお化けに変装し、お菓子を求めて城西病院へ。

子どもたちはカボチャのお化けに変装し、託児所を出発。お菓子を求めて城西病院の旧玄関まで歩いていきました。旧玄関前では、城西病院のスタッフが待ち構えていました。子どもたちは「トリック・オア・トリート（お菓子がないといたずらするぞ）」と呪文を唱え、スタッフからお菓子をもらっていました。

ニューヤマザキデイリーストア城西病院店では、大鉢いっぱいのお菓子を前に、ニコニコした表情を見せていました。子どもたちは、小さな手いっぱいにお菓子をわしづかみにし、袋に入れていました。

平成30年10月30日

